

平成 29 年度 子ども・若者支援予算のポイント

〈基本的な考え方〉二つの観点から事業を充実

- ①児童虐待防止、子どもの貧困対策、家庭的養護の推進など喫緊の課題への対応強化
- ②保育サービスの充実、教育費の負担軽減、婚活支援、子どもを性被害から守るための取組などの重要施策を発展・深掘り

子育て支援

子育て支援・保育サービスの充実

- 子ども・子育て支援事業【1,331,631千円】
病児・病後児保育など子育て支援サービス等を実施する市町村を支援（補助率1/3）
- 保育士の確保（待機児童ゼロの維持）
「保育士人材バンク」の設置（新）【4,992千円】

保育・幼児教育の質の向上

- 信州やまほいく（信州型自然保育）事業【21,948千円】
・信州型自然保育認定団体への助成（新）
・県外の子育て世代等に対する情報発信（拡）

郷学郷就の推進

- 信州高等教育支援センター事業【21,378千円】
・信州で学ぼう！魅力発信事業（一部新）
県内大学等への進学を拡大するため、県内外に情報を発信
・学生・地域連携事業補助金 等

児童虐待等の防止強化

喫緊の課題

- 児童福祉法改正に伴う児童相談所の体制強化等
- 児童相談所の相談支援体制の強化（拡）【11,838千円】
児童相談所等職員に対する研修体系を再構築し、専門性を強化（拡）
- 児童相談所の法的対応機能の強化（新）【2,541千円】
児童相談所広域支援センターに弁護士を配置し、法的対応を要する業務に迅速・的確に対応

家庭的養護の推進

喫緊の課題

- 里親の委託推進【7,196千円】
・里親制度の普及啓発、研修等の実施（拡）
・家庭的養護推進検討協議会の設置（新）
新生児里親委託等のあり方を検討（望まない妊娠等への対応）

子どもの貧困対策

喫緊の課題

- 子どもの居場所づくり
・「信州こどもカフェ」の推進（拡）【5,774千円】
地域プラットフォーム構築やコーディネート等の人材養成・運営の支援
- ・生活困窮家庭の子どもの学習支援（新）【4,723千円】
生活保護世帯や生活困窮世帯の子どもに対して、学習支援協力員等による学習支援を実施【健康福祉部】

教育費の負担軽減

- 私立学校生徒・保護者の負担軽減
・授業料等軽減事業の拡充（一部新）【150,104千円】
私立学校等の授業料等の負担軽減のための助成拡充（小中学校まで対象を拡大等）
- ・高等専修学校の特別補助増額（拡）【3,240千円】
発達障害等により学習に課題を抱える生徒に特別支援教育を行う場合の補助充実
- 奨学金の給付
・飛び立て若者！奨学金給付（拡）【30,689千円】
寄付金を財源とする大学等進学者への支援
- ・県内大学修学のための奨学金給付（拡）【10,150千円】

子どもを性被害から守るための取組

- 保護者や地域住民を対象にした研修会、CAPワークショップ等の開催支援の充実【5,058千円】
・人権教育・性教育
・情報モラル教育及びネットトラブル解決（追加）
・児童養護施設等の職員、入所中の子どもの研修（追加）
- 青少年サポーターの設置拡大【4,578千円】
- ひまわりっ子保健室の充実【552千円】
子どもの居場所へ訪問し相談対応（新）

オール信州で取組を推進するための体制整備

「将来世代応援県民会議（仮称）」の設置

更なる施策推進のために

- 子ども・若者支援に関する総合的な計画策定（平成29年度）

- *子どもと子育て家庭の生活実態調査
- *政策効果分析
- *海外先進事例の調査